

## 別表第 4 施工管理記録様式

## 目 次

様 式	名 称
	(出来形管理関係)
1-1	出来形管理図表 (表紙)
1-2	品質管理図表 (表紙)
2	出来形管理図表 (図表)
2-1	行 程 能 力 図
2-2	度 数 表
3-1	測 定 結 果 一 覧 表
3-2	鋼管溶接測定結果一覧表
3-3	鋼管溶接、塗覆装点検表
3-4	管水路ジョイント間隔測定結果一覧表
3-5	埋設とう性管たわみ量管理表
3-6	鉄筋組立検査結果一覧表
4	杭 打 ち 成 績 表
	(コンクリート関係)
5	セメントの密度試験 (JIS R 5201)
6-1	セメントの粉末度試験 (比表面積試験) (JIS R 5201)
6-2	セメントの粉末度試験 (網ふるい試験) (JIS R 5201)
7	セメントの凝結試験 (JIS R 5201)
8	セメントの安定性試験 (JIS R 5201)
9	セメントの強さ試験 (JIS R 5201)
10	細骨材の密度および吸水率試験 (JIS A 1109)
11	粗骨材の密度および吸水率試験 (JIS A 1110)
12	細骨材の表面水率試験 (JIS A 1111)
13-1	骨材のふるい分け試験 (細骨材) (JIS A 1102)

様式	名	称
13-2	骨材のふるい分け試験 (粗骨材)	(JIS A 1102)
14	骨材試験成績一覧表	
15	コンクリートのスランプ試験およびフレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験(空気室圧力方法)	(JIS A 1101) (JIS A 1128)
16	コンクリートの圧縮強度試験	(JIS A 1108)
17	コンクリートの曲げ強度試験	(JIS A 1106)
18	フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験	(JIS A 5308) (JIS A 1144)
19	骨材のアルカリシリカ反応性試験 (化学法)	(JIS A 5308) (JIS A 1145)
20	骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)	(JIS A 5308) (JIS A 1146)
21	鉄筋の曲げ試験	(JIS G 3112) (JIS Z 2248)
22	鉄筋の引張試験	(JIS G 3112) (JIS Z 2241)
	<b>(土質関係)</b>	
23	土の含水比試験	(JIS A 1203) (JGS 0121)
24-1	砂置換法による土の密度試験 (較正)	(JIS A 1214)
24-2	砂置換法による土の密度試験 (測定)	(JIS A 1214)
25	土の収縮定数試験	(JIS A 1209) (JGS 0145)
26-1	C B R 試験 (初期状態、吸水膨張試験)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
26-2	C B R 試験 (貫入試験)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
26-3	C B R 試験 (室内試験結果)	(JIS A 1211) (JGS 0721)
27	修正 C B R 試験	
28	現場 C B R 試験	(JIS A 1222)
29	道路の平板載荷試験	(JIS A 1215)
30	土の直接せん断試験	

様式	名	称
31	ポータブルコーン貫入試験	(JGS 1431)
32	締固めた土のコーン指数試験	(JIS A 1228)
33-1	土の一軸圧縮試験 (初期状態、軸圧縮過程)	(JGS 0716)
33-2	土の一軸圧縮試験 (強度・変形特性)	(JIS A 1216)
34-1	土の液性限界・塑性限界試験 (測定)	(JGS 0511)
34-2	土の液性限界・塑性限界試験 (試験結果)	(JIS A 1216)
35	土粒子の密度試験 (検定、測定)	(JGS 0511)
36-1	土の粒度試験 (ふるい分析)	(JIS A 1205)
36-2	土の粒度試験 (2mmふるい通過分分析)	(JGS 0141)
36-3	土の粒度試験 (粒径加積曲線)	(JIS A 1205)
37-1	突固めによる土の締固め試験 (測定)	(JGS 0141)
37-2	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)	(JIS A 1202)
	(アスファルト関係)	
38	アスファルト試験成績一覧表	(JGS 0111)
39	アスファルトの粘度温度表	(JIS A 1204)
40	粗骨材試験成績一覧表 (碎石)	(JGS 0131)
41	細骨材試験成績一覧表 (砂)	(JIS A 1204)
42	石粉及びスクリーニングス試験成績一覧表	(JGS 0131)
43	骨材粒度曲線表 (アスファルト)	(JIS A 1204)
44	合材粒度ふるい分け試験及び配合比決定例	(JGS 0131)
45	骨材の推定変動範囲 (細骨材及びスクリーニングス)	(JIS A 1210)
46	骨材配合率の密度補正	(JGS 0711)

様式	名 称
47	骨材配合率及び合成粒度 (室内試験)
48	合成粒度曲線 (室内試験)
49	試験配合表 (アスファルト量別)
50-1	アスファルト混合物の安定度試験 (マーシャル式・理論最大密度)
50-2	アスファルト混合物の安定度試験 (マーシャル式)
51	試験結果図表
52	マーシャル試験による基準アスファルト量
53	フィーダ、ホットビン、ミキサーの骨材の粒度試験
54	粗骨材のすりへり試験 (JIS A 1121)
55	アスファルトの抽出試験
56	路面の平坦性試験表 (標準偏差)
57	プルーフローリング試験
	(品質管理関係)
58-1	$\bar{X} - R$ 管理データシート
58-2	$\bar{X} - R$ 管理データシート
58-3	$\bar{X} - R$ 管理図
59-1	$X - R_s - R_m$ 管理データシート
59-2	$X - R_s - R_m$ 管理データシートの2
60	$X - R_s - R_m$ 管理図
61	工事写真 (表紙)

平成 年度

## 工事 出来形管理図表

一部完成検査，出来形検査，中間検査

月 日	回	検査種別	検 査 員 職・氏名・印	総括監督員 職・氏名・印	監 督 員 職・氏名・印	現場代理人 氏 名 ・ 印
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

完 成 検 査

月 日	検 査 員 職・氏 名・印	総 括 監 督 員 職・氏 名・印	監 督 員 職・氏 名・印	現場代理人 氏 名・印
月 日				

支庁・課名 \_\_\_\_\_

受注者名 \_\_\_\_\_

- 注) 1. 出来形管理図表は、本表紙様式により全工種を一括綴りとし、インディックス等により検査毎に仕分けし、更に工種毎に細仕分けするものとする。
2. 出来形管理図表は、検査のつど監督職員に提出するものとする。
3. 工種は、施工管理基準の「工種」の項目とする。

平成 年度

## 工事 品質管理図表

一部完成検査，出来形検査，中間検査

月 日	回	検査種別	検 査 員 職・氏名・印	総括監督員 職・氏名・印	監 督 員 職・氏名・印	現場代理人 氏 名 ・ 印
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						

### 完 成 検 査

月 日	検 査 員 職・氏 名・印	総 括 監 督 員 職・氏 名・印	監 督 員 職・氏 名・印	現場代理人 氏 名・印
月 日				

支庁・課名 \_\_\_\_\_

受注者名 \_\_\_\_\_

- 注) 1. 品質管理図表は、本表紙様式により全工種を一括綴りとし、インディックス等により検査毎に仕分けし、更に工種毎に細仕分けするものとする。
2. 品質管理図表は、検査のつど監督職員に提出するものとする。
3. 工種は、施工管理基準の「工種」の項目とする。

様式 2

出来形管理図表 (図表)

平成 年度 工事 工 管理図表 受注者 現場代理人 (印)

総合支庁 課 監督員 測定者 (印)

番号	
月日	
(単位)	

記事

- 注
1. 工種名は、盛土工、下層路盤工、現場打型水路、吹付工等を記入する。
  2. 標題は、厚管理図表、基準高管理図表と記入する。
  3. 番号は、あらかじめ測点を定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。
  4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。
  5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛に数値を記入する。
  6. 図表には規格値の線を朱書きで記入する。
  7. 記事は、手当の処置等を記入承諾印を押す。



工 程 能 力 図

設計基準値	工事名		主張所・監督官		平成	年	月	日
名称	標準量		期	間	自	至	者	日
品質特性	上限値	下限値						
測定単位	規格限界	大きさ	現場代理人		平成	年	月	日
測定方法	試験料	間隔	測定者名					印
作業機械名								印

--	--	--	--	--	--	--	--	--

月	日	番	号
記事			

注：1. 能力図は、仕様書による規格限界線を朱書で記入する。  
 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

様式 2-2

度 数 表

工 事 名 工 種 名 平 成 年 月 日 現 在 受 注 会 社 名 測 定 者 印

← 度 数 (回)																						(-) ← 設 計 値 と の 差 → (+)	

注) 出来形管理で20点以上の場合使用する。

様式 3-1

測定結果表

受注者  
現場代理人 印

測定者 印

単位：mm

測定項目	規格値	測定値			差	測定値			差	略	図
		設計値	実測値	差		設計値	実測値	差			
測定又は区分											

注) 基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する。







埋設とう性管たわみ量管理表

工事名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_

管種(長さ) \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

測定位置 (管番号)	管据付時				管頂埋戻し時				埋戻し完了時				D+t(mm) (内径)(管厚)
	D <sub>U</sub> mm	たわみ率 %	D <sub>h</sub> mm	たわみ率 %	D <sub>U</sub> mm	たわみ率 %	D <sub>h</sub> mm	たわみ率 %	D <sub>U</sub> mm	たわみ率 %	D <sub>h</sub> mm	たわみ率 %	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

$$\Delta X = [2R - (D_U + t)] \text{ 又は } [2R - (D_h + t)]$$

2R: 管厚中心直径  
t: 管厚

- 注) 1. マーキング位置における測定値を記入する。  
 2. 測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理 管水路工事 管水路(埋設とう性管)の測定基準による。  
 3. 矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。





様式 4

杭打ち成績表

工事名 : \_\_\_\_\_

受注会社名 : \_\_\_\_\_

工種名 : \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

杭打込み 月 日	杭番号	杭規格	測定時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下 量(cm)	支持力(kN)	摘要

杭配置図

適用公式名 : \_\_\_\_\_

設計支持力 : \_\_\_\_\_



セメント粉末度試験(比表面積試験)  
(JIS R 5201)

工事名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

試験日	平成 年 月 日 曜 天候			
試験日の状態	室温 ( °C )		湿度 ( % )	
試料	-----			
①セルと水銀との質量 (g)				
②セルの質量 (g)				
③水銀の質量 ① - ② (g)				
④(セル)+(セメント)+(水銀)の質量 (g)				
⑤(セル)+(セメント)の質量 (g)				
⑥水銀の質量 ④ - ⑤ (g)				
⑦水銀の密度 (g/cm <sup>3</sup> )				
⑧ベットの体積 $\frac{③ - ⑥}{⑦}$ (cm <sup>3</sup> )				
⑨平均値				
測定番号	1	2	3	4
試料の質量 (g)				
標準試料降下時間 t <sub>0</sub> (s)				
標準試料比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)				
セメント降下時間 t (s)				
セメント比表面積 (cm <sup>2</sup> /g)				
許容差				
平均値				
考察	-----			
	-----			
	-----			
	-----			
	-----			
	-----			



セメントの凝結試験  
(JIS R 5201)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験日	平成	年	月	日	曜	天候
試験日の状態	室内の温度 (℃)		室内の湿度 (%)		水温 (℃)	
	湿気箱内の温度 (℃)		湿気箱内の湿度 (%)			
試料	_____ _____ _____					
測定番号			1	2	3	4
試料の質量 (g)						
水の量 (mℓ)						
注水時刻 (h・min)						
始発時刻 (h・min)						
始発時間 (min)						
終結時刻 (h・min)						
終結時間 (h)						
考察	_____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____					

セメントの安定性試験  
(JIS R 5201)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印

試験日	平成	年	月	日	曜	天候
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)	
養生温度(°C)						
試料	-----					
	-----					
	-----					
測定番号			1	2	3	4
試料の質量 (g)						
水の量 (ml)						
ひび割れ・反りの有無						
試験結果						
考察						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						
-----						

様式 9

セメントの強さ試験  
(JIS R 5201)

工事名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_ 印

試験日		平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
試験日の状態	室温 (°C)				
	湿度 (%)				
養生温度 (°C)					
材 齢 (日)					
供試体質量 (g) (脱型直後)	1				
	2				
	3				
供試体質量 (g) (強さ試験直前)	1				
	2				
	3				
曲げ試験	最大荷重 (N)	1			
		2			
		3			
	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1			
		2			
		3			
平均値 (N/mm <sup>2</sup> )					
圧縮試験	最大荷重 (N)	1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
平均値 (N/mm <sup>2</sup> )					
供試体作製日 : 平成 年 月 日					







細骨材の表面水率試験  
(JIS A 1111)

工事名 \_\_\_\_\_

受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_

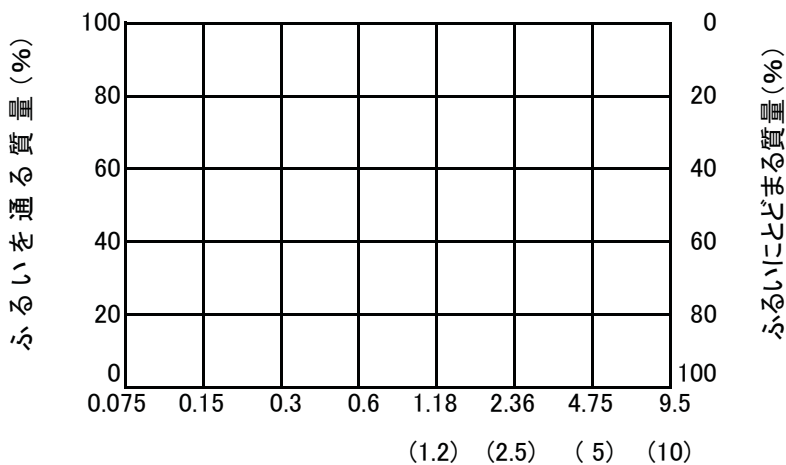
測定者 \_\_\_\_\_ 印

試験日	平成 年 月 日 曜	天候		
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)	水温 (°C)	
試料	----- d <sub>s</sub> : 試料の表面乾燥密度 = g/cm <sup>3</sup>			
測定番号	1	2	3	4
① 試料の質量 m <sub>1</sub> (g)				
② (フラスコ)+(マークまでの水)の質量 m <sub>2</sub> (g)				
③ (フラスコ)+(マークまでの水)+ (試料) の質量 m <sub>3</sub> (g)				
④ m=①+②-③ (g)				
⑤ ms = $\frac{①}{d_s}$				
⑥ 表面水率 H = $\frac{④-⑤}{①-④} \times 100$ (%)				
⑦ 平均値 (%)				
⑧ 平均値との差 (%)				
⑨ 試料を覆う水量 V <sub>1</sub> (mL)				
⑩ (試料)+(水)の容積 V <sub>2</sub> (mL)				
⑪ V=⑩-⑨ (g)				
⑫ 表面水率 = H = $\frac{⑪-⑤}{①-⑪} \times 100$ (%)				
⑬ 平均値 (%)				
⑭ 平均値との差 (%)				
考察	----- ----- ----- ----- -----			

骨材のふるい分け試験（細骨材）  
(JIS A 1102)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験日	平成 年 月 日 曜 天候				
試験日の状態	室温 (°C)	湿度 (%)			
試料	-----				
ふるいの呼び寸法 (mm)	各ふるいにとどまる質量の累計		各ふるいにとどまる質量		ふるいを通る質量
	(g)	(%)	(g)	(%)	(%)
9.5 ( 10)					
4.75 ( 5)					
2.36 ( 2.5)					
1.18 ( 1.2)					
0.6					
0.3					
0.15					
0.075					
受皿					
計					
粗粒率					



考 察  
 -----  
 -----



骨材試験成績一覽表

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印

試料採取地名									
試験日									
ふる い 分 け	粗 骨 材	150mm以上通過質量百分率 %							
		150 ~ 100 "							
		100 ~ 80 "							
		80 ~ 60 "							
		60 ~ 50 "							
		50 ~ 40 "							
		40 ~ 30 "							
		30 ~ 25 "							
		25 ~ 20 "							
		20 ~ 15 "							
		15 ~ 10 "							
		10 ~ 5 "							
		5以下 "							
		粗粒率							
細 骨 材	細 骨 材	5mm以上通過質量百分率 %							
		5 ~ 2.5 "							
		2.5 ~ 1.2 "							
		1.2 ~ 0.6 "							
		0.6 ~ 0.3 "							
		0.3 ~ 0.15 "							
		0.15以下 "							
粗粒率									
細 骨 材	細 骨 材	密度							
		単位容積質量(標準) kg/m <sup>3</sup>							
		単位容積質量(軽装) kg/m <sup>3</sup>							
		安定性 %							
		吸水量 %							
粗 骨 材	粗 骨 材	洗い試験 %							
		密度							
		単位容積質量(標準) kg/m <sup>3</sup>							
		単位容積質量(軽装) kg/m <sup>3</sup>							
		安定性 %							
		吸水量 %							
		すりへり減量 %							
		洗い試験 %							
軟石量試験 %									
細長扁平試験 %									
備考									



コンクリートの圧縮強度試験  
(JIS A 1108)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験日	平成 年 月 日 曜			天候						
試験日の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		水温 (°C)					
試料										
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 s/a (%)	単 位 量 (kg/m <sup>3</sup> )				
						水 W	セメント C	混和材 F	細骨材 S	粗骨材G mm ? mm
材 齢 (日)										
養生方法					養生温度 (°C)					
供試体番号	1		2		3		4			
平均直径 (mm)										
断面積 (mm <sup>2</sup> )										
平均高さ (mm)										
スランプ (cm)										
質 量 (kg)										
最大荷重 (N)										
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )										
平均圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )										
見掛け密度 (kg/m <sup>3</sup> )										
平均見掛け密度 (kg/m <sup>3</sup> )										
供試体の破壊状況のスケッチ										
考 察	-----									
	-----									
	-----									
	-----									
	-----									





フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験  
(JIS A 5308、JIS A 1144)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 印  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_

試験日	平成	年	月	日	天	候				
試験料	採取方法									
	保管方法									
示方配合	粗骨材の最大寸法 (mm)	スランプの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 (%)	細骨材率 (%)	水	セメント	細骨材	粗骨材	混和材料
								~ mm	~ mm	
測定内容	分析法									
	測定器名及び指示薬									
測定回数	1	2	3	平均						
塩化物イオン濃度 (%)										
塩化物量 (kg/m <sup>3</sup> )	判定基準					測定場所				
	_____以下					現場 工場				

様式 19

骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）  
 （JIS A 5308、JIS A 1145）

工事名	受注会社名	印
工種名	測定者	

試験	骨材の種類	骨材の産地	日 平成 年 月 日			アルカリ濃度減少量(Rc) (mmol/l)				溶解シリカ量 (Sc) (mmol/l)				有害度の判定					
			繰返し	試験料量 (g)	反応時間 (hf)	V			C		W		平均値			Sc			
						V <sub>1</sub> (ml)	V <sub>2</sub> (ml)	V <sub>3</sub> (ml)	Rc	平均値	Sc	V	C (mg/l)			平均値	Sc	C (mg/l)	平均値
線	返	し	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
	備考																		

様式 20

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)  
(JIS A 5308、JIS A 1146)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験日	平成 年 月 日		曜 天候				
試験日の状態	気温 (°C)	室温 (°C)	容器内温度 (°C)	容器内湿度 (%)			
	セメント	種別 全アルカリ					
骨材	産地 種別						
区分	材 齢	脱型時	2週間	4週間	8週間	3ヶ月	6ヶ月
① 基長 L (有効ゲージ長) ( $\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
② 供試体脱型時のダイヤル ゲージの読み $X_{ini}$ ( $\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
③ 同時測定した標準尺のダ イヤルゲージの読み $sX_{ini}$ ( $\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
④ 材齢における供試体のダ イヤルゲージの読み $X_i$ ( $\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
⑤ 材齢における標準尺のダ イヤルゲージの読み $sX_i$ ( $\times 10^{-3}$ mm)	1						
	2						
	3						
⑥ 膨張率 (%)  $\frac{(\text{④}-\text{⑤})-(\text{②}-\text{③})}{L} \times 100$	1						
	2						
	3						
	平均						
判 定							
精 度							
考 察							
-----							
-----							
-----							
-----							

様式 21

鉄筋の曲げ試験  
(JIS G 3112、JIS Z 2248)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印

試験日	平成 年 月 日	曜	天候
試験日の状態	気温 ( °C )		室温 ( °C )
試験料	-----		
試験料番号			
呼び径 (mm)			
実測径 (mm)			
種別			
記号			
曲げ角度 (度)			
内側半径 (mm)			
判定			
考 察			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			

(土質関係)

様式 23

土の含水比試験

(JIS A 1203、JGS0121)

工事名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 \_\_\_\_\_  
 工種名 \_\_\_\_\_ 試料採取地点 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

試料番号(深さ)						
容器 NO.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
w %						
平均値 w %						
特記事項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

$m_a$  : (試料+容器)質量  
 $m_b$  : (炉乾燥試料+容器)質量  
 $m_c$  : 容器質量

(社)地盤工学会規格準用

砂置換法による土の密度試験(校正)  
(JIS A 1214)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

I. ジャーとピクノメータートップとの体積の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに水を満たした質量 $m_2$ g					
測定器の質量 $m_1$ g					
満たした水の質量 $m_2 - m_1$ g					
測定器中の水の温度 $t$ °C					
$t$ °Cにおける水1g当たりの体積 $K$ cm <sup>3</sup> /g					
ジャーとピクノメータートップとの体積 $V_1 = K(m_2 - m_1)$ cm <sup>3</sup>					
平均値 $V_1$ cm <sup>3</sup>					

II. 試験用砂の乾燥密度の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
ジャーとピクノメータートップに砂を満たした質量 $m_3$ g					
測定器の質量 $m_1$ g					
測定器中の砂の質量 $m_4 = m_3 - m_1$ g					
試験用砂の乾燥密度 $\rho_{ds} = m_4 / V_1$ g/cm <sup>3</sup>					
平均値 $\rho_{ds}$ g/cm <sup>3</sup>					

III. 漏斗を満たすのに必要な砂の質量の校正

測定 NO.	1	2	3	4	5
測定器と入れた砂の質量 $m_3'$ g					
漏斗を満たした砂を除き測定器と残った砂の質量 $m_5$ g					
漏斗を満たすのに必要な砂の質量 $m_6 = m_3' - m_5$ g					
平均値 $m_6$ g					

特記事項

砂置換法による土の密度試験(測定)  
(JIS A 1214)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

	測定器 NO.		土質名称
試験用砂の乾燥密度	$\rho_{ds}$	g/cm <sup>3</sup>	漏斗を満たすのに必要な砂の質量 $m_6$ g
試験孔 NO.			
最大粒径		mm	
容器 NO.			
容器質量		g	
(試験孔から取り出した土+容器)質量		g	
試験孔から取り出した湿潤土の質量	$m_7$	g	
試験孔から取り出した土の炉乾燥質量	$m_0=100m_7/(w+100)$	g	
ジャーとピクノメータトップに砂を満たした質量	$m_3$	g	
測定器と残った砂の質量	$m_8$	g	
試験孔および漏斗に入れた砂の質量	$m_9=m_3-m_8$	g	
試験孔を満たすのに要する砂の質量	$m_{10}=m_9-m_6$	g	
試験孔の体積	$V_0=m_{10}/\rho_{ds}$	cm <sup>3</sup>	
湿潤密度	$\rho_t=m_7/V_0$	g/cm <sup>3</sup>	
乾燥密度	$\rho_d=m_0/V_0$	g/cm <sup>3</sup>	
含	容器 NO.		
	(試料+容器)質量	$m_a$	g
	(炉乾燥試料+容器)質量	$m_b$	g
	容器質量	$m_c$	g
水		$w$	%
	容器 NO.		
	(試料+容器)質量	$m_a$	g
	(炉乾燥試料+容器)質量	$m_b$	g
比	容器質量	$m_c$	g
		$w$	%
平均値	平均値	$w$	%
	含水比	$w$	%
	湿潤密度	$\rho_t$	g/cm <sup>3</sup>
	乾燥密度	$\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>

特記事項

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

土の収縮定数試験  
(JIS A 1209、JGS 0145)

工事名 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試料番号 (深さ)							
測定 NO.							
収縮皿 NO.							
湿潤試料の体積	ガラス板の質量 $m_g$ g						
	収縮皿の質量 $m_c$ g						
	水の入った収縮皿とガラス板の質量 $m$ g						
	水の温度 $T$ °C						
	水の密度 $\rho_w$ g/cm <sup>3</sup>						
	湿潤試料の体積 $V$ cm <sup>3</sup>						
炉乾燥試料の体積	パラフィン塗布後の試料の質量 $m_1$ g						
	水中における吊り皿の見掛けの質量 $m_2$ g						
	水中における試料および吊り皿の見掛け質量 $m_3$ g						
	炉乾燥試料の質量 $m_s$ g						
	パラフィンの密度 $\rho_p$ g/cm <sup>3</sup>						
	炉乾燥試料の体積 $V_o$ cm <sup>3</sup>						
含水比	湿潤試料と収縮皿の質量 $m_a$ g						
	湿潤試料の含水比 $w$ %						
	平均値 $w$ %						
収縮限界	収縮限界 $w_s$ %						
	平均値 $w_s$ %						
収縮比	収縮比 $R$						
	平均値 $R$						
ある含水比 $w_1$ %							
体積収縮率 $C$ %							
線収縮 $L_s$ %							

特記事項

$$V = \frac{(m - m_c - m_g)}{\rho_w}$$

$$w_s = w - \frac{(V - V_o) \rho_w}{m_s} \times 100$$

$$R = \frac{m_c}{V_o \cdot \rho_w}$$

$$C = (w_1 - w_s)R$$

$$V_o = \frac{(m_1 - m_3 + m_2)}{\rho_w} - \frac{(m_1 - m_c)}{\rho_n}$$

$$w = \frac{(m_a - m_c - m_g)}{m_s} \times 100$$

$$L_s = \left[ 1 - \sqrt[3]{\frac{100}{C + 100}} \right] \times 100$$

(社)地盤工学会規格準用



CBR試験(初期状態、吸水膨張試験)  
(JIS A 1211、JGS 0721)

工事名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 \_\_\_\_\_

試験採取地点 \_\_\_\_\_ 採取日 平成 年 月 日 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg	土質名称		
突き固め方法		落下高さ	cm	自然含水比 $w_n$	%	
試験準備	準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数 回/層	最適含水比 $w_{opt}$	%	
	空気乾燥前含水比 %		突固め層数 層	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$	g/cm <sup>3</sup>	
準備	試験調整後含水比 $w_o$ %	モールド	内径	cm	荷重板質量	kg
			高さ <sup>1)</sup>	cm	モールド容量 $V$	cm <sup>3</sup>

供試体 NO. _____								
含水比	容器 NO. _____							
	(試料+容器)質量 $m_a$	g						
	(炉乾燥試料+容器)質量 $m_b$	g						
	容器質量 $m_c$	g						
	含水比 $w_1$	%						
平均値 $w_1$		%						
密度	(試料+モールド)質量 $m_2$ <sup>2)</sup>	g						
	モールド質量 $m_1$ <sup>2)</sup>	g						
	湿潤密度 $\rho_t$	g/cm <sup>3</sup>						
	乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>						
吸水膨張試験	水浸時間 $h$	時刻	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm	変位計の読み	膨張量mm
	0							
	1							
	2							
	4							
	8							
	24							
	48							
	72							
	96							
(試料+モールド)質量 $m_3$ <sup>2)</sup>	g							
膨張比 $\gamma_e$	%							
湿潤密度 $\rho_t'$	g/cm <sup>3</sup>							
乾燥密度 $\rho_d'$	g/cm <sup>3</sup>							
平均含水比 $w'$	%							

特記事項

- 1) スペーサーディスクの高さを差引く
- 2) モールドの質量は有孔底板を含む

$$\gamma_e = \frac{\text{供試体の膨張量 (mm)}}{\text{供試体の最初の高さ (125mm)}} \times 100$$

$$\rho_t' = \frac{m_3 - m_1}{v(1 + \gamma_e/100)} \quad \rho_t = \frac{m_2 - m_1}{V}$$

$$\rho_d' = \frac{\rho_d}{1 + \gamma_e/100} \quad \rho_d = \frac{\rho_t}{1 + w_1/100}$$

$$w' = \left[ \frac{\rho_t'}{\rho_d'} - 1 \right] \times 100 \quad w_1 = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

(社)地盤工学会規格準用

**C B R 試 験 ( 貫 入 試 験 )**  
(JIS A 1211、JGS 0721)

工 事 名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日 \_\_\_\_\_ 受注会社名 \_\_\_\_\_

試料採取地点 \_\_\_\_\_ 採取日 平成 年 月 日 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試 験 条 件		水浸、非水浸		貫入速さ mm/min				荷重板質量 kg							
養 生 条 件		日 空 気 中		荷 重 計 NO.				貫入スピンドルの断面積 cm <sup>2</sup>							
		日 水 浸		容 量 kN				較正係数 $\frac{MN/m^2}{目盛}$ $\frac{kN}{目盛}$							
供 試 体 NO.				供 試 体 NO.				供 試 体 NO.							
貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重		貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重		貫 入 量 mm		荷重強さ、荷重					
読み		平均	荷重計 の読み	MN/m <sup>2</sup> kN	読み		荷重計 の読み	MN/m <sup>2</sup> kN	読み		平均	荷重計 の読み	MN/m <sup>2</sup> kN		
1	2				1	2			1	2					
0					0				0						
0.5					0.5				0.5						
1.0					1.0				1.0						
1.5					1.5				1.5						
2.0					2.0				2.0						
2.5					2.5				2.5						
3.0					3.0				3.0						
4.0					4.0				4.0						
5.0					5.0				5.0						
7.5					7.5				7.5						
10.0					10.0				10.0						
12.5					12.5				12.5						
貫入試験後の 含水比	容器NO.				貫入試験後の 含水比	容器NO.				貫入試験後の 含水比	容器NO.				
	m <sub>a</sub> g					m <sub>a</sub> g					m <sub>a</sub> g				
	m <sub>b</sub> g					m <sub>b</sub> g					m <sub>b</sub> g				
	m <sub>c</sub> g					m <sub>c</sub> g					m <sub>c</sub> g				
	w <sub>2</sub> %					w <sub>2</sub> %					w <sub>2</sub> %				
平均値 w <sub>2</sub> %				平均値 w <sub>2</sub> %				平均値 w <sub>2</sub> %							

特記事項

$$w_2 = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m<sub>a</sub> : (試料+容器)質量

m<sub>b</sub> : (炉乾燥試料+容器)質量

m<sub>c</sub> : 容器質量

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]

[1kN ≒ 102kgf]

(社)地盤工学会規格準用

**CBR試験(室内試験結果)**  
(JIS A 1211、JGS 0721)

工事名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 \_\_\_\_\_

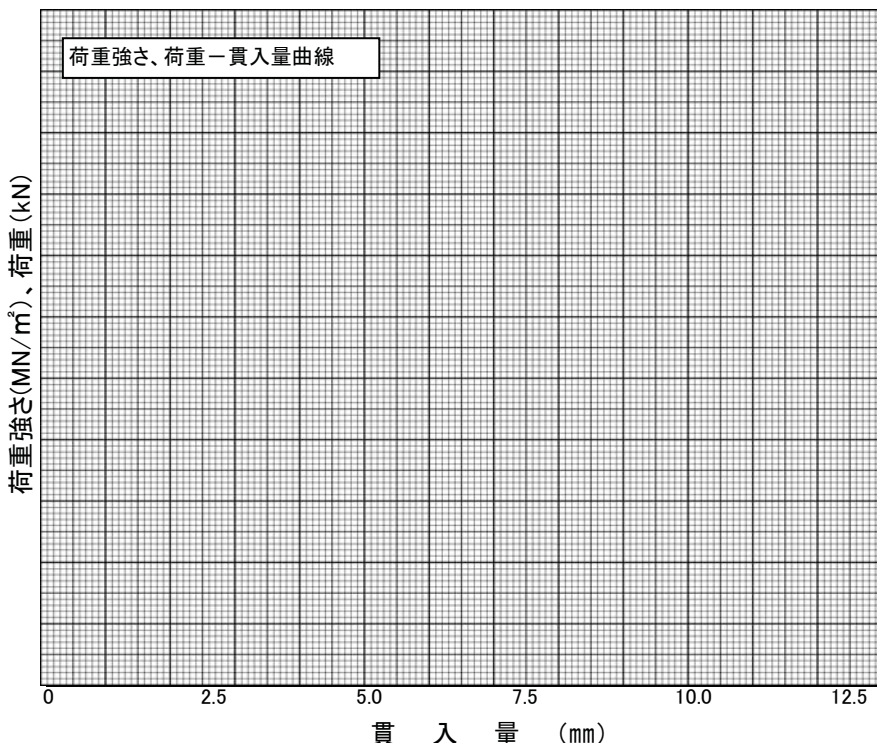
試料採取地点 \_\_\_\_\_ 採取日 平成 年 月 日 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

試験方法	締固めた土、乱さない土	ランマー質量	kg		土質名称
突固め方法		落下高さ	cm		空気乾燥前含水比 %
試料の準備方法	非乾燥法、空気乾燥法	突固め回数	回/層		自然含水比 $w$ %
試験条件	水浸、非水浸	突固め層数	層		最適含水比 $w_{opt}$ %
養生条件	日空气中	モールド	内径	cm	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>
	日水浸		高さ <sup>1)</sup>	cm	

供試体 NO.				
吸水膨張試験	前	含水比 $w$ %		
		乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		
	後	膨張比 $\gamma_e$ %		
		平均含水比 $w'$ %		
		乾燥密度 $\rho'_d$ g/cm <sup>3</sup>		
貫入試験		試験後の含水比 $w_2$ %		
		貫入量2.5mmにおけるCBR %		
		貫入量5.0mmにおけるCBR %		
		CBR %		

平均CBR %

---



特記事項  
1) スペーサーディスクの高さを差引く。

[1MN/m<sup>2</sup> ≒ 10.2kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1kN ≒ 102kgf]

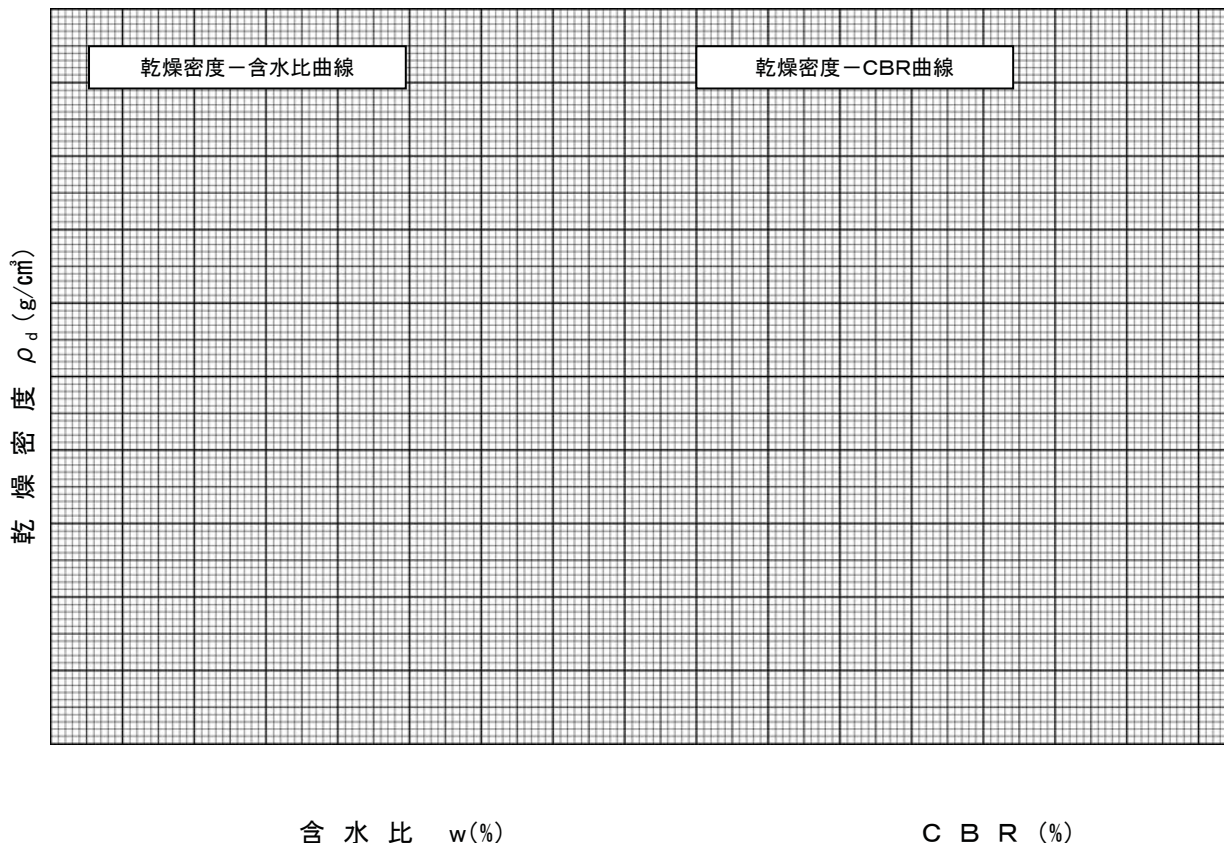
貫入量mm		2.5	5.0
荷重強さ重	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
	供試体 NO.		
標準荷重強さ MN/m <sup>2</sup>		6.9	10.3
標準荷重 kN		13.4	19.9

修正 C B R 試験

工事名 \_\_\_\_\_ 試験日 平成 年 月 日 受注会社名 \_\_\_\_\_

試料採取地点 \_\_\_\_\_ 採取日 平成 年 月 日 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

突固め回数	回/層	( 層)			( 層)			( 層)		
供試体 NO.										
乾燥密度 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>									
平均値 $\rho_d$	g/cm <sup>3</sup>									
貫入量2.5mmにおけるCBR	%									
平均値	%									
貫入量5.0mmにおけるCBR	%									
平均値	%									
ランマー質量	kg	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>			締固め度 %					
		最適含水比 $w_{opt}$ %			修正CBR %					



特記事項 \_\_\_\_\_